

神はこのイエスを復活させられたのです。わたしたちは皆、そのことの証人です。
使徒言行録2章32節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 中田 輝次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木博英社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148



4月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：希望と平和の源・キリストの復活
- ②宣教の意向：未来の司祭
- ③日本教会の意向：司祭職と奉獻生活への召命のために祈る

《復活教書》

188殉教者列福式長崎開催の意義

大司教 ヨセフ 高見 三 明

長崎教区の皆さま、主キリストのご復活のお慶びを申し上げます。まことにめでたうございます。この大いなる祭日に当たり、キリストの死にあずかりすでに復活の恵みを確実にしている殉教者たち思いをはせながら、今年11月24日に行われる列福式の意義について一緒に考えてみたいと思います。

2. 長崎開催の意義

1. ペトロ岐部と187殉教者の列福式
ヨハネ・パウロ2世教皇さまの日本訪問を準備する中で、福音宣教省長官ロッシ枢機卿さまが、文書で里脇枢機卿さまに日本の殉教者たちの列福調査を勧められました。里脇枢機卿さまは、早速結城了悟神父さまやチースリク神父さまに相談、1982年、司教協議会に「殉教者列福調査特別委員会」の設立準備が始まりました。それ以来25年にわたる関係者の努力によって、今年長崎でペトロ岐部と187殉教者の列福式が行われることになりました。

列福式開催決定が近いと思われた2006年6月ごろ、殉教地を持つ教区に開催地としての可能性が打診されました。長崎教区の顧問団は、「当該殉教地が全国に広がっているの、長崎以外の地で開催されるのが望ましい。ただし、長崎に要請があれば受ける用意がある」と旨、答えました。そして7月の常

任司教委員会、東京教区をはじめ種々の事情で開催候補地を名乗る教区はなく、長崎が選定される結果となりました。

日本初の列福式の長崎開催は歴史的と言えます。その意義は、ヨハネ・パウロ2世教皇さまの言葉に示唆されています。まず、列福式は、日本全体、特に長崎で連綿と続いた信仰と殉教の歴史の一つの大きな実りであり、わたしたちは栄光と悲劇に彩られた歴史の町、長崎にすることができ、しかも悲劇を克服して栄光をかちえた人々の子孫であり、後継者である皆さんにお話しできることを神に感謝しています。わたしは大いなる愛情と、この地方教会のすばらしいカトリックの伝統に対する深い尊敬の念をもって、皆さんに挨拶を送ります(1981年2月25日浦上教会での司祭叙階式説教)。

また長崎に代表される日本の殉教者は、ローマ教皇を通して全世界の教会およびその殉教の歴史に連なっています。「わたしは日本がキリスト教のメッセージに再度門戸を開いてから1世紀後に、ローマの司教としてここに来ました」。さらにそれ以前に2世紀にわたってひそかに信仰を守り続けた信者たち

宮原良治司教に福岡教区司教に



3月19日(水)、日本時間午後8時のローマ、教皇庁からの発表で、教皇ベネディクト16世は、大分教区のドミニコ宮原良治司教を福岡教区司教に任命した。2006年6月2日、松永久次郎司教が急逝し、福岡教区は司教空位となり、川上惣一神父が教区管理者を務めていた。

福岡教区(福岡、佐賀、熊本)は、2006年12月現在の統計によると、信者数31,074人で、小教区55、巡回教会9となっている。第6代福岡教区司教となる宮原良治司教の着座式は、5月18日(日)午後2時から福岡国際センターにて執り行われる。

略歴

1955年6月22日長崎県南松浦郡新上五島町生まれ。1982年3月19日司祭叙階。2000年5月10日大分教区司教に任命。同年10月1日司

引退

使徒トマ 川原義和神父



教叙階。2008年3月19日福岡教区司教に任命。(以上カトリック中央協議会ホームページを参照)

略歴

1932年12月25日長崎市下黒崎生まれ。61年3月19日大浦天主堂で司祭叙階。61年4月紐差教会助任。62年9月ローマ・ウルバノ大学留学。65年8月青砂ヶ浦教会助任。66年8月教区書記長(2005年まで)。同年9月三ツ山教会主任。71年10月カトリックセンタート主任補佐。79年11月教区会計。2005年4月神ノ島教会主任。

人事異動・任命

4月

▼教区

川原 義和神父 引退(神ノ島主任)
三村 誠一神父 大山主任(相浦主任・佐世保地区長)
片岡 久司神父 出津主任(紐差主任)
山川 忠司神父 神ノ島主任(俵町主任)
松下 光男神父 相浦主任(佐世保地区長・鮑の浦主任)
村川 昌彦神父 鮑の浦主任(真手ノ浦主任)
橋口 朝光神父 教区本部・福音化推進部部長
中村 満師 福岡教区・今村主任(大崎主任)
岩崎 康彦神父 福岡教区・今村主任(大崎主任)
川内 和則神父 俵町主任(水の浦主任)
鳥瀬 文武師 紐差主任(出津主任)
中浜 敬司師 教区本部・信仰養成部部長
川原 昭如師 (研修 マニニ)
鶴巻 健二師 (長崎カトリック神学院養成者)
山口竜太郎師 浦上助任(福岡助任)
野濱 達也師 水の浦主任(浦上助任)
山添 克明師 長崎カトリック神学院養成者
福江助任(新司祭)
福江助任(新司祭)

ちは、遠くにバーバと呼ばれる人がいることを知っていました。今日そのバーバは、長崎の信者の言い伝えに敬意を表し、その子孫たちに直接、「イエス・キリストと同じ心で愛している」と語りかけるためにやってきたのです(26日松山町での野外ミサ説教)。
殉教者たちは、人間としても自由に信じるという権利を最期まで行使しつつ、キリストに就いて憎しみや恨みを抱くことなく、むしろ命をもって抑圧と暴力の愚かさを訴え、ゆるすことで真の愛を示しました。列福式は、この原爆の地でもある長崎から、殉教者ともども、最高の価値である神の愛とゆるし、またそれらによって実現する真の平和を証し訴える最良の機会となります。キリスト信者は長崎で死んでいきました。しかし長崎の教会は死ぬことはありませんでした。この殉教者の丘に基礎を置く長崎の教会はいずれ成長し、花を咲かせ、世界のキリスト信者に対し信仰と忠実の模範となり、復活したキリストに基づく希望のしるしとなるはずなのです。わたしはこの殉教者の丘で、愛がこの世で最高の価値を持つことを、高らかに宣言したいと思っています。この聖なる地で各階層の人々が、愛は死より強いことを証明しました。彼らは、彼らを仰ぎ見るすべての人に、神への無私の愛と隣人への愛に基づいて、自分の生涯をつくりかえるよう刺激を与えているのです(26日、西坂の殉教の丘で)。
殉教者は、文字通りキリストの死にあずかり、それゆえにその復活の栄光にもあずかる恵みを受けました。今を生きるわたしたちが、殉教者に倣い、自分に死に自分を与えることによってキリストの愛を証しできますように、神の恵みを祈り求めましょう。

日本のカトリック司教団が発行する唯一の週刊全国紙

創刊85周年記念特典付 週刊「カトリック新聞」購読のご案内

弊紙は、本年1月で創刊85周年を迎えました。また、3月には「よきおとずれ」との合体号発行が実現し、長崎教区の皆様のお手元に「カトリック新聞」をおとどけすることができました。このたび、これを記念して長崎教区信者の皆様を対象に、カトリック新聞購読のお申込みを右記の特典付きでうけたまわります。

ぜひこの機会にお申込み下さい。

カトリックの今を伝える

信望は消えない

カトリック新聞 2008

申込みはがき

- ◆特典
 - ◇購読(半年間)申込みの方に、更に1ヶ月無料サービス
 - ◇購読(1年間)申込みの方に、更に2ヶ月無料サービス
- ◆新聞購読料：半年(24回)4740円・1年(48回)9480円
- ◆初回ご送付時の新聞に郵便振替票を同封いたします
- ◆お申込み方法(いずれかの方法で申込み下さい)
 - ①教会設置の新聞申込みはがきを使用する
 - ②電話(03-5632-4432)で申込み
 - ③FAX(03-5632-7030)で申込み
 - ④E-Mail(kodoku@cwjpn.com)で申込み
- 申込み内容：住所、氏名、自宅電話番号、所属教会をお知らせください
- 申込み締切：6月30日(郵便の場合消印有効)
- 申込み宛先：〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館5階 カトリック新聞社 購読係

▼コンベンツアル聖フランシスコ修道会
赤尾 満治師 聖母の騎士社、本河内助任
(イタリア アシジのサクロ・コンベント)

▼聖アウグスチノ修道会
モリス・マホニ師
城山助任(東京・葛西主任)
遠山 満師 福岡・笹丘主任(城山助任)
ダーニョ・ヘスス師 葛西助任(城山助任)

▼レデンプトール会
頭島 光師 愛宕助任
(鹿児島准管区長・谷山修道院)

▼神言修道会
川上 進師 神言修道会長崎修道院(西町主任)
濱口 末明師 聖ルドヴィコ神学院院長
(西町教会協力司祭)

松本 勝男師 神言修道会長崎修道院、長崎南山中・高等学校校長(聖ルドヴィコ神学院院长)

【2面に続く】

復活の主日に、船に乗って3つめの教会のミサに出かけた。船を降り、乗船する人々とすれ違う中で、知らない女性から「イエスターおめでとうございます」と声をかけられた。スーターを着た神父が船を降り降りにしたので、気さくに声をかけてくれたのだろう。「イエスター」と言ったあの女性は、カトリック信者だったのだろうか？プロテスタント信者だったのだろうか？「主はまことに復活された」と固く信じているけれども、文字通り「復活おめでとう」とあいさつを交わしたのは日曜日までで、月曜日からは言っていない。復活の日曜日が終われば、「はいこれでお願いします」という感覚が潜んでいないだろうか。カトリック教会ではミサに参加して、「アレルヤ唱え」の時だけアレルヤと言って、本当の意味で神をほめたためて日々を暮らしていると言えらるだろうか？復活の信仰は、人間にとってすべてが無に帰す「死」の向こうにある最高の喜び、希望であるはずだ。私たちは毎晩に就いて「闇」を経験し、朝には「光」を受けている。この体験を復活になぞらえて毎日「アレルヤ！」と唱えてよいはずだ。復活節を迎えた今、心の中に「アレルヤ！」という叫びが失われてはいないか、「ほしかげ」を読んでみるまさにその場所、で、「アレルヤ」と唱えているミサの中で、もう一度考えてみたい。

大司教ブラジル訪問 中村長八神父 命日ミサと墓参

日伯司牧協
会会長青木 勲
神父(マリア
会)の招待で、
高見三司大司
教と中村長八
師列福推進教
区担当野下千
年神父は、3
月9日、ブラ
ジルはサン・パウロ州に
ある聖ヨゼフ教会で中村
長八神父の命日ミサに参
加した。
この年中行事に、各地
から450人余の日系ブ



中村長八神父の墓前で

ブルデニチ教区司教のあ
いさつの後、高見大司教
が日本教会の歴史と現状
について講話を行った。
その後全員でロザリオ
を唱えながら中村神父の
墓参りをした。マスコミ
も取材。ミサは地元司教
が主司式をし、高見大司
教が説教をした。ミサ後、
市の体育館で昼食会が行
われた。あわせて中村神
父列福申請の準備会議に
も参加した。中村神父が
最期を迎えた郊外の聖堂
も見学した。

夜は現地日本人会主催
の夕食会に招かれた。こ
のほかサン・パウロ郊外
のカテキスタ会、宮崎カ
リタス修道女会修道院、
憩いの園(老人ホーム)、
アパレシードなどを訪
問。モジ・ダス・クルー
ゼスの教会では70人余の
日系ブラジル人と昼食を
共にし、体験談を聞いた。
特に松尾繁詞神父、アレ
シオ神父、日伯司牧協
で奉仕する信徒の方々の
歓待を受け、長崎からの
一行は15日に帰国した。

司祭職の日 聖香油ミサと祝賀会

ここ数年、長崎教区で
は聖週間の火曜日を「司
祭職の日」と定め、聖香
油のミサと、節目を迎え
た司祭の祝い、新司祭の
歓迎を行っている。80人
近い司祭が今年の聖火曜
日3月18日に浦上司教座
聖堂に集まった。
午前中の聖香油のミサ



しくなっているとの注意
も呼び覚ました。また、
今年は日本人がブラジル
に行つて100年目であ
り、司祭職の1つのモデ
ルとしてブラジルへの宣
教に身をささげた中村長
八神父を紹介した。神父
の墓参を兼ねたブラジル
訪問で現地の司教から聞
いた、中村神父の謙遜さ、
霊的な単純さ、宣教への
熱意にすべての司祭が倣
うように促した。
ミサの後、カトリック
センターレストランで祝
賀会が開かれ、銀祝の山
田聡神父と、野濱達也、
山添克明両新司祭が、集
まった司祭団に紹介され
た(写真)。また、永井
学生センターの設立当初



から運営に携わったイエ
ズ会のホセ・アギラー
ル神父は、3月で館長と
しての務めを終え、感謝
の花束が渡された。
山田 聡神父は、「銀祝
までに多くの出会いがあ
りました。その思いで、
記念カードには司祭と信
徒が230年ぶりに出
会った信徒発見を選びま
した。これからもよろし
くお願いします」とあい
さつした。ますますの活
躍を願い、お祝いの司祭
たちに拍手を送った。

2008年度 小共同体づくり入門講座

下記日程(全10回)の午後7時～9時まで中町教会信徒会館で行われます。小教区に配布されて
いる案内・申込書に記入の上、ファックスまたは
郵送にてお申し込みください。

日 程 4月15・22日、5月13・20・27日、
6月3・10・17・24日、7月1日
(いずれも火曜日)
進行担当 中村 満師、長野宏樹氏、橋本 勲師、
野下千年師、田川孝弘氏、辻喜美子氏
ほか。
参 加 費 5,000円
申込締切 4月10日(木)

問合せ・申込先
〒852-8113
長崎市上野町10-34
カトリックセンター内 小共同体推進室
(TEL) 095-842-4450
(FAX) 095-842-4460



もつと知りたい 日本の殉教史 第4回 殉教の精神(その2)

長崎純心大学学長
片岡千鶴子 修道女

キリシタン時代は殉教
者をポルトガル語を使っ
てマルチル(証人の意味)
と呼びました。初代教
会時代からキリストの証
人となつて命をささげた
人々をマルチルと呼んで
います。日本では4万人
を超える人々がキリスト
の証人、マルチルとなり

ました。なぜこのように
大勢の殉教者が出る迫害
が起こつたのでしょうか。
理由はいろいろありま
すが、ここでは時代背景
から考えてみます。16世
紀のポルトガル船の来航
は日本に新しいヨーロッパ
の文化をもたらしまし
た。中でもザビエルが伝

えた福音の教えは日本の
思想に大きな影響を与え
ました。特に唯一の至高
者である神の存在とその
神の前で人間は平等であ
るというキリスト教の教
えは日本人が知らなかつ
た斬新な教えでした。
ところが時代は群雄割
拠の戦国の世から全国統
一に向かう時期でした。登
場してきたのは信長・秀吉
家康です。彼らが理想と
した天下統一、集権的封
建体制と呼ばれる強力な
専制君主の統一政権です。
キリシタンの教えが日本人

の中に広まるにつれ、その
唯一至高の存在者である神
への信仰は、許し難い危険
なものと感ずるのです。
最初の排斥は秀吉の伴
天連追放令と26聖人殉教
事件ですが、統一の道半
ばであったことから不徹
底に終わっています。徳
川氏は政権の確立に利用
しながら組織的に世界に
類のないキリシタン弾圧
を行います。神に救い
を見いだした多くのキリ
シタンは厳しい迫害に屈
せず命を懸けて神への忠
誠を守り通したのです。



で、病者の塗油の油、洗
札志願者の油、洗礼・堅
信のための油が高見大司
教の祈りによって聖別さ
れた(写真)。大司教の
説教では、長崎教区は新
司祭を2人頂いたが、司
祭召命は目に見えて少な
くなり、状況は極めて厳

平戸地区青年会企画
「結婚の真実」講演会
3月2日
田平教会信
徒会館に
て、講演会
「結婚の真
実」(知っ
て知らない
で知らない
教会法にお
ける結婚の
絆)が開か
れた。講師は島原教会の
葛嶋秀信神父。平戸地区
青年会が企画し、島原に
打ち合わせに行き、タイ
トル名や講演会場を話し
合い、多くの人へ案内の
仕方を検討し、ポスター
製作からチラシ作り、司
会進行など手探りで準備

現代結婚の諸問題を教
会がどのように考え、教
会が結婚するた
めの準備をどの
ように進めたら
よいのか広く
知って、多くの
誤解を解く機会
ともなった。当
日は青年だけで
はなく、子供を
心配する親や、
信者でない方も
合わせて約80人
が参加し、現実
問題に問う質問
が寄せられた。
次回開催を期
待されていた。

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士
大田白蟻研究所
代表者 マリア 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
電話 095-822-8436
FAX 095-822-8436



出典・カトリック中央協議会

会の典礼では殉教を示
す、その下にラテン語
で「ペトロ・パウロと187
殉教者」と記されている。

列福式開催に向けて⑥

〜ロゴ選定〜

実行委員会事務局局長

橋本 勲

作業は特にテーマが今回
のように殉教にかかわる
ことになると難しい面も
懸念されましたが、かな
りの力作が寄せられまし
た。
図柄そのものもさるこ

とながら、この図柄に寄
せる想い(コンセプト)
がとても豊かなものが
あったことは列福式への
関心が高いことを表して
いると思われます。
最終的に選ばれたのは

このロゴの原案をくだ
さった女子高生は全体を
鳩の形でまとめているま
した。殉教を迫害・被害
敵・味方などの対立関係
を、非暴力によつてのり
越えようとした究極の平
和運動としてとらえてい
たようです。

人事異動・任命

▼神言修道会(1面の続き)
エウゲニウス・ジェブーラ師

永山 誠師 西町主任(南山主任)
秋田助任(神言修道会長崎修道院、
長崎南山中・高等学校校長)

▼サレジオ修道会
丸岡 秀世師 愛野修道院(中津修道院)
亀沢 経水師 宮崎カリタス修道女会牧野修道院
(別府サレジオハウス)

派遣司祭の異動・任命

▼福岡教区(4月1日付)
竹内 英次師 福岡・糸島主任
(熊本・玉名主任兼荒尾主任)

▼中央協議会(4月1日付)
久志利津男師 中央協議会事務局次長(司教協議会
秘書室長兼務)
下 英知師 司教協議会秘書室広報担当部長(出
版部長兼務)



した。
青年会長の今村美由紀
さんは、「この講演会に

用紙には多くの意見が寄
せられ、次回の開催を期
待されていた。

電気温水器 エコキュート 太陽光発電 配線工事 点検修理
電気設備・エアコン設備 何でも、お任せください
オール電化パートナー店 オールウェイズ
0120-33-1114
長崎市晴海台町2-14
ヨセフ 中ノ瀬 淳一

車イスでお墓参り可 祈りの丘
長崎駅より車15分、小江原車庫前バス停より徒歩3分
夢が丘ニュータウン県道向かい、車50台以上
長崎大理石 (TEL) 095-839-0374
経営管理者 (TEL) 095-839-1008
祭壇前、規格墓碑一切(即納骨可) 210万円

(医) 外尾内科医院
院長 外尾 明利
〒857-1152 長崎市黒島町34-4
TEL 0956-33-5557

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士
大田白蟻研究所
代表者 マリア 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
電話 095-822-8436
FAX 095-822-8436

この出会いが永遠に… 第14回 日韓学生交流会

2月22日、第14回日韓学生交流会が、列福式を意図して「殉教者友のために命を捨て、この愛は以上」というテーマでカトリックセンター、大司教館で開催され、日韓双方から青年17人(長崎教区5人) ずつが参加した。

交流会前半は2泊3日のホームステイ、後半は3泊4日の合宿。高見大司教も同行した「島原巡礼」では、殉教という過去の出来事を振り返り、被爆体験や日韓歴史学習を通して殉教の現代的意味付けをし、未来に向かって殉教者と同じ信仰を生きる決意を確認した。日韓双方とも殉教者の信仰を土台とする教会、その教会の若者が殉教に死を選ぶことというイメージだけでなく、殉教の真の意味を考える良い機会となった。



「この交流会で実現した出会いが永遠に続きますように」―日本側の代表岩永幸太さんの閉会式での涙ながらの言葉は、交流会の裏を表現していた。交流会の実行は長崎教区会管区が担当し、長崎と福岡の青年を中心に行われた。関係者は「教区を超えた協力は苦勞もあつたが、大きな行事を通して成長する若者たちの姿に、これからの教会を担う力強さを感じることができた」と述べている。



歓迎式

列福式に向け「証し灯」の 出発式 長崎合同青年黙想会



郡山司教

2月24日、長崎3地区の合同青年黙想会が「殉教者友のために命を捨てる、これ以上の大きな愛はない」をテーマに長崎大司教館で開かれ、青年ら約50人が集まった。1回目講話担当の結城了悟神父(26聖人修道院)は188殉教者について触れ、殉教は命を「捨てる」のではなく「ささげる」こと、愛は死よりも強く、愛する人は喜んでイエスさまや他の人のために死ぬと語り、キリストの教えを最後まで伝え続けた殉教者の姿を、残された文書のことばなどを交え話した。



「証し灯」出発式
2回目の講話は、鹿児島



教区の郡山健次郎司教。司教は、私たちの前に立ちあがった現実問題、それは私たちの「殉教者たらしめるもの」であり、「私たちが育ってきた環境など、すべてがイエスさまと私のことを見つめるための体験です」と励ました。

ゆるしの秘跡、講話後は感謝のミサをささげた。ミサの中では、青年らで構成する「青年列福準備会」の提案による11月24日の列福式に向けたロウソクリレー「証し灯」の出発式も行われ、実りある黙想の時間を共に過ごした。

信仰養成講座修了式

3月2日(日)午後、カトリックセンターにおいて今年度の信仰養成講座修了式を挙行了。信仰養成講座修了者は4人。うち2人に高見大司教から、要理教師2級資格証書が手渡された。



修了式後にはみことば友の会主催の茶話会が行われ、大司教や神父らと話題も分かち合った。修了生は次の通り。
要理教師2級資格取得者
今村 良子
(宮崎カリタス修道女会)
笠田美千子(同)
修了者
辻原 和美(浦上教会)
川渕マリ子(城山教会)
一方、聖書講座の受講者には約25年継続の参加者数人もいる。

ビルジツタ

山田雅子修道女
(長崎純心聖母会)



2月7日、同修道会の栃木県那須修道院にて急性心筋梗塞のため帰天。82歳。長崎市浦上生まれ。56年終生誓願。純心女子学園(長崎・鹿児島・東京)の中・高・短大・大学の現場で生徒を教える。後に純心女子短大・長、東京純心女子短大・大学の学長を務めた。

第7回 長崎コレジオ卒業式 川端神学生 大神学院へ

第7回長崎コレジオ卒業式が、2月16日午後4時から大浦教会で、高見大司教を迎えて行われた。今年の卒業生は滑石小教区所属の川端志範長崎教区神学生。



卒業式の中で、高見大司教は、「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」というマルコ福音の言葉を用いて訓話を述べられた。

卒業式の後、会場が長崎堂に移され祝賀会が開かれた。川端神学生は晴れ晴れとした表情で、参加した司祭団や家族、それにソロモン友の会やコレジオ後援会会員から祝福を受けていた。

「ここ数年長崎コレジオは毎年1人の卒業生を出すにとどまり多少不安

もありですが、卒業式に先立ち、2月11日に、長崎コレジオ第1回卒業生である、野濱達也新司祭が誕生したことは、川端

神学生に叙階へ向けての大きな勇気と希望を与えた」と山脇院長は語っている。

中村倫明師を講師に 平戸地区婦人会研修

2月17日、平戸地区カトリック婦人会(上神崎・里村一子会長)は、上神崎教会において研修会を開催した。今回は、「親元を離れた子供の信仰教育」と題して、植松教会の中村倫明師を招き話を聞いた。参加者は子供を持つ婦人会員を



愛がしっかりとしていれば、いつかは皆さんの子供も気づくはずですよ」と話した。

最後は信徒会館で、参加者一同、中村師を囲んで茶話会を開き今年度最後の研修会を終了した。

クリスマス 募金

昨年12月から今年1月にかけて、教区評議会が協力と呼び掛けしたクリスマス募金は、この3月末現在で約550万円集まり、前年度の残金と合わせて、被災地などへの送金を次の通り決定することができた。皆さまのご協力に心から感謝いたします。

中越地震 200万円
バングラデシユ・サイクロン被害 100万円
(いずれもカリタスジャパン経由で) ▼ペルー地震 宮崎カリタス修道女会経由で150万円
▼歳末たすけあいなどの公共機関を通しての支援金 50万円
▼ダルク支援金 50万円

一葉募金

鹿児島 県北部豪雨災害(06年7月発生)で被害を受けた鹿児島教区・出水教会の婦人信徒が、昨年11月26日、高見大司教を表敬訪問し、災害時の長崎教区支援に対し、感謝の言葉を述べ礼

金を託した。災害時、長崎教区評議会は義援金として一葉募金から50万円を送金し、鹿児島教区から大司教に感謝状が寄せられていた。礼金は、一葉募金に繰り入れた。

駐日教皇庁大使ら 迎え世界遺産シンポ

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」をテーマにした世界遺産シンポジウムが3月25日、大浦天主堂で開かれた。

開会を前に主催者代表の金子知事、田上長崎市長、来賓にアルベルト駐日教皇庁大使のあいさつがあった。

パネルディスカッションのコーディネーターに林一馬長崎総合科学大学学長、パネラーに磯村尚徳氏(前パリ日本文化会館館長)・星野知子氏(国の文化審議会世界文化遺産特別委員会委員)・高見大司教の三者がそれぞれの視点・立場から遺産の本登録を目指す上での貴重な意見を述べた。

3月14日ローマ郊外の本部で病のため死去、88歳。「皆が一つになるように」―生涯をささげた。長崎での追悼ミサは30日午後、城山教会で高見大司教主司式で執り行われ、フォコラーレ会員約200人が参列、別れを惜しんだ。

第5回 聖書愛読マラソン 感想文(上)

好評を博している聖書愛読マラソン大会、教区評議会実行委員会)は5

平成19年度の第5回参加者をコース別にみると、新約聖書51人、旧約聖書31人、マタイ福音書毛筆写聖24人、ルカ福音書毛筆写聖29人、コースのダブル挑戦者も少なくない。感想文の一部を紹介する。(全文掲載できず広報委員会でご略させて頂きました。)

一般公募によって2月の高見大司教から表彰状に決定した「ペトロ岐部と187殉教者列福式」ロゴ。この作品を手がけた佐世保市在住の馬場さん(長崎日本大学高等学校デザイン美術科2年)の表彰が、3月17日大司教館で行われ、列福式実行委員会委員長

列福式のロゴ

制作者 馬場さん表彰



きです。やさしい感じに出来上がったように思いますが、顔で話した。

聖書通読

聖書を読み終えることが精一杯、でも読む楽しさが分かってきたので、もう一度読み直してみたいです。(桐T・A)

一応読み通したが、ある程度の勉強をしなれば理解が浅く、解釈を間違えるのではと思っています。モーセ五書は以前少し勉強しましたが、これを機にチャンスがあれば聖書講座等に参加したいです。(浦頭A・K)

聖書を読み終えることが精一杯、でも読む楽しさが分かってきたので、もう一度読み直してみたいです。(桐T・A)



リズムを祝うようにみ言葉も世界中の人々に信じてほしいですね。(稲佐K・E)

素晴らしい聖書マラソン。また新たな気持ちで一度チャレンジしたい。(中町M・A)

2回目の参加。前回完走できなかったが、今回無事完走。毎日聖書を読む難しさがありませんでした。(浦上A・M)

病気の方、お仕事、家庭の事情のある方に比べて聖書を読む時間を与えて頂いたことに感謝。その中でマリアさま、ヨ

うがいっぱい用意してある所と答え、全員が行ってみたいと言いました。私も天の国へ行ってみたい、天の国に入りたいたい、願っています。皆さんもそうですよね。そこでイエスさまは天の国へ入るにはこうしなさいと、この福音の箇所でお話しておられるのです。すべての人が天の国に来てほしいからです。

神さまはすべての人に愛を注がれています。恵みあふれ、慈しみ深く優しいお方です。このことを数々のたとえを通して教えておられるイエスさま。私たちが、もし火と一緒に油も準備して待



みことばにふれて 42 長与教会学校スタッフ

「天の国は次のようにたとえられる。十人のおとめがそれぞれともし火を持って、花婿を迎えに出て行く。そのうち五人は愚かで、五人は賢かった。」

ある日、わが家で子供たちと、この福音について話し合う機会があり、ともし火(信仰)は持っているが油(愛・善行)を用意しておらず、花婿(イエスさま)を迎えに

問した時、子供たちは、神さまやイエスさま、マリアさまがいて、ごちそ

新刊良書

★わかりやすいミサと聖体の本

なぜミサに行くの?と問うひとに。人間を引き寄せる神の愛、聖体と感謝の祭儀(ミサ)イエスの生涯に触れるミサ、ミサ以外のときの聖体拝領と聖体に対する信心について日本カトリック典礼委員会委員、東京神学院の典礼学講師を務める著者が執筆している。

長崎教区司教。発行女子パウロ会、1400円。★幸せに気づく

中井俊巳著。感謝・祈り・喜びをテーマにしたエッセー集。祈りによって、日常生活に感謝や喜びを見いだせると著者はさまざまなエピソードを通して述べている。マザー・テレサの「小さなことを大切に」、永井隆の「しっぽもひと役」十人

列で箇所が飛んでいたため、油断して間違ったりして何度も引き返し、行き過ぎとなり。後では毎度チェック表に沿ってマラソンしました。最後のシラ書はすばらしかった。(純心聖母O・K)

ぶどう園

イエズス会立山修道院 お知らせ ●祈りの一日

①4月17日(木) ②4月29日(火) 9時50分~15時半 ●ともに祈る日々 4月19日(土)~4月20日(日) 初日17時~翌日15時

永井隆生誕100年記念 5月1日(木)12時~浦上教会 ミサと特別講演(片岡留美子長崎純心大学教授、グレゴリー・ダ

②19時~永井隆記念館前庭「平和灯」(悪天候中止)

問合せ先・同記念事業実行委員会事務局 Tel.095(844)3496

121回クルシリヨ

他人のために生きた人

イエズス会の結城了雪神父は、キリストに對しても、自分自身に對しても、また日本国民に對しても穴吊りの殉教者として忠実に生きたと紹介する。結城朝能喜太郎から了雪に、または「伴天連れうこ」という名で知られ、12歳で安土セミナリヨの生徒として司祭になる夢を育み、マニラで叙階。禁教令の中、日本に戻り、故郷(四国阿波国)から津軽まで宣教の道を歩き、洗礼、告解、ご聖体をもつて信徒を育て教会を支える。

あとがきに「帰化するときイエズス会の日本人名簿で霊名としてデリオゴと呼ばれていることが分かり、あなたの名字結城を選んだ」と記している。発行 長崎市西坂町7-18 26聖人記念館。800円。

主の平安 カトリック式葬祭・飾付一式 (有) 栄光式典社 代表取締役 ヨハネ 西村 勇二 長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011 24時間営業 FAX(095)843-9896

天使の手のひら Angel Palm エンジェル パーム 心と体のために... 住所: 西彼村郡長与町高田郷1260-14 TEL: 090-5297-9304 完全予約制 テレシア 毎熊美香

5月2日(金)~5日(月) イエズス会立山修道院 2万円 問合せ先・宮崎美和子 Tel.095(879)5102 ●インターナショナル・オルガンフェスティバル・イン・ジャパン2008 5月17日(土)14時浦上教会 3千円 問合せ先・IOFJ長崎公演事務局 Fax.095(821)6454 ●雲仙殉教記念祭 5月18日(日)13時半 雲仙メモリアルホール

なが さき せき ちょう 長崎石彫 ヨゼフ 岩永 博明 ☎(095)862-2469 長崎市梁川町6-17 岩永ビル

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売 たつみ産業株式会社 西田商事株式会社 代表取締役 ミカエル 西田 寛己 本社 〒857-1166 佐世保市本風町1468番地 TEL (0956) 31-8268

長崎大司教区 ●小川ツタエ様(浦上) 故ラウレンシオ 小川仙吉様 長崎カトリック神学院 ●牧山マツエ様(鮑の浦) 故ドミニコ牧山藤正様 ●阿野正喜様(浜串) 故エリザベト 阿野キト様 右の方々から神学生養成などのために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げますとともに故人のごい福を心からお祈り申し上げます。